

会 議 録

会 議 名	第9回八王子市子ども・子育て支援審議会	
日 時	平成26年 9月30日(火) 午後6時10分～7時20分	
場 所	八王子市役所 本庁舎 501会議室	
出 席 者 氏 名	委 員	井上仁会長、高橋洋副会長、青木訓行委員、池永文乃委員、内野彰裕委員、大須賀美奈子委員、岡崎理香委員、鍛冶礼子委員、栗本正男委員、小林千里委員、高橋哲男委員、チャーリー磯崎委員、柗澤章次委員、山口茂委員(会長、副会長、以下五十音順)
	説 明 者	子ども企画委員会(高校生6名)
	事 務 局	小澤篤子部長、平塚裕之課長、志萱龍一郎課長、橋本盛重課長、新堀信晃課長、秋元政人主査、川上寧子主査、小池靖信主査、三宅智之主査、小林勝己主査、三澤由香理主査、小澤研主査、岸貴子主査、井垣利朗主査、坂井厚彦主査、永井太主査、下谷晴一郎主査 他
欠 席 者 氏 名	塩澤伸久委員、田口勝美委員、辰田雄一委員	
議 題	1 議事 八王子市の子ども・子育て支援方針について 2 報告 子どもとの意見交換会	
公開・非公開の別	公開	
非 公 開 理 由		
傍 聴 人 の 数	1人	
配 付 資 料 名	○八王子市の子ども・子育て支援方針について(WT 素案・文言調整未) ○「第3次子ども育成計画 ビジョンすくすくはちおうじ」施策体系(案) ○子ども意見発表会報告会 ○「こどもによる意見発表会の会」アンケート調査 ○八王子市保・幼・小子育て連絡協議会 講演会お知らせ	
会 議 の 内 容	別紙のとおり	
会 議 録 署 名 人	平成27年 3月26日 井 上 仁	

【井上会長】 それでは第9回八王子市子ども・子育て支援審議会を始めます。

八王子市の子ども・子育て支援方針についてということで、ワーキンググループの途中経過につきまして、報告いたします。資料をご覧ください。

(資料「八王子市の子ども・子育て支援方針について (WT素案・文言調整未)」、「第3次子ども育成計画ビジョンすくすくはちおうじ施策体系 (案)」について説明)

もうまとめなければならぬので、非常にタイトな日程です。4日までに意見をメールなどでいただきたいと思います。施策体系も含めまして、なぜ、具体的にどう直すか、を提示してください。「7 子どもからの提言書」のところが白紙になっていますが、資料「子ども意見発表会報告会」をご覧ください。

(資料「子ども意見発表会報告会」について説明)

これを報告書の形にまとめていきます。今日も子どもの委員さんたちをお招きしておりますので、いただいた意見等を取り入れていけたらと思います。次回10月30日の本審議会で素案提出となります。

その後の進行について、事務局からご説明いただいてもよろしいでしょうか。

【平塚子どものしあわせ課長】 審議会から答申をいただくものは、「基本理念」「めざす姿」「4つの基本方針」「16の基本施策」となります。今回意見をいただく部分については、細かい部分でも構わないのですが、まずは基本的考え方の部分である「16の基本施策」を中心に大きな視点から意見を出していただきたいと思います。施策体系案の中に書かれている「実現に向けた45の具体的施策」は、市のそれぞれの所管から集約をしているところですので、答申を受け取った後に、市の方で計画の素案にこの部分を追加し、最終的に市の計画として出していきます。

おおまかなスケジュールですが、10月末の審議会で、一定の方針が定まったものを作りたいと思います。その後11月には、そこに具体的な施策を入れながら、市としての計画の素案を作っていきます。12月の始めには議会に素案を提出しまして、12月の中旬から1月の中旬にかけ、素案を公開してパブリックコメントというものを実施し、広く市民の意見を募ります。そして、その素案を手直したものを3月までに仕上げるというスケジュールになっています。

【井上会長】 ありがとうございます。委員の皆様よろしいでしょうか。

保育のところと、学童保育のところ、各部会でとても提案が多かったので、全体の基本方針が遅れていますが、よろしく願いいたします。

では、本日の報告事項となっています、子どもさんたちからの意見として、新たな提案を含めましてご意見をいただきます。それではヒアリングに入りたいと思います。

【事務局】子ども企画委員会には小・中学生もいますが、本日は高校生の6人が発表します。では、委員長からお願いします。

【子ども企画委員会委員】本日は、子ども企画委員の代表として、来ている6人で報告させていただきます。

昨年、私たちは、まちづくりに関するアンケートをとる活動を行ってきました。その結果、4,776枚のアンケートを集めることができました。そして、昨年度の3月21日に子ども意見発表会を行い、市長、教育長にアンケート結果の発表を行いました。子ども企画委員は、今年も継続して、悩み、相談場所、自然体験の3つの項目に絞って何度も検討を進めてきました。

10年後には、私たち高校生は子育てをしている世代になっているかもしれません。10年後の八王子をイメージしながら、意見を考えた部分もあります。本日はその3つの項目に絞って報告をさせていただきます。

【子ども企画委員会委員】私たちのグループは、悩みについて検討しました。アンケート中「どんな悩みがありますか」という質問に自由記述で回答する部分について分析しました。これは、中・高生のみが回答しました。この中で、「悩みがない」といった回答は全体の82パーセントを占めていました。しかし、検討を進める中で、82パーセントも人が悩みがないということはありませんという結論になりました。それは、このようなアンケート形式では答えられない、誰に見られるかわからない、知り合いが横にいるような状態では書けない、などの理由で、あっても書きづらいものだと推測できるからです。私の経験上、いじめについてのアンケートでは、鉛筆を動かしていると、周りの人に書いていることがわかってしまうので書けないものでした。

【子ども企画委員会委員】アンケート調査では、数人の大人が集約をするので、大まかな悩みの集計で終わってしまうと思いました。アンケートが必要ないということではなく、このアンケートがあったからこそ、次のようなことが見えてきました。

子どもたちは、悩みを聞いてもらえる機会があまりないという意見があり、学校に通っている子どもは、身近な学校が相談場所としては一番良いという意見にまとまりました。また、大人にしっかり意見を聞いてもらいたいと考えています。そのためにも、顔がわかる大人が地域を巡回して、日常から関わりを持っていれば、もっと打ち解けやすく、話し

やすくなると思います。

【子ども企画委員会委員】悩みは、信頼できる人と直接1対1で話せることが大切だと思います。また、直接話せない人はメールやLINEといったツールを利用する環境も必要だと思います。悩みを子どもたちから言ってもらい、相談を受けるためには、環境を整えることが必要だと感じました。その対象者は、小学生から高校生まで幅広く対応できることが必要です。以上が悩みグループの報告です。

【子ども企画委員会委員】私たちのグループは、相談場所について検討しました。テーマは相談場所ですが、まず、どのような人だと相談しやすいかというところから検討に入りました。身近な人ですと、親から友達など大勢いて検討してもきりがないため、専門的な知識を持っている人を相談者として考えました。その中でも、堅苦しくなく、親しみを持てる人が相談者として適しているとの結論に達しました。また、世間話のように深い悩み以外にも聞いてくれる人がいいという意見もありました。

【子ども企画委員会委員】次に相談場所について報告します。直接会話できる場所、落ち着いて話せる場所、例えば、明るすぎたり、暗すぎたりしない、という意見がでました。また、相談場所は、自転車で行ける距離にあるといいという意見にまとまりました。友達に見られたくないため、ある程度の距離が必要との意見でした。距離でなくても、友達にわからないような場所が良いとのことでした。以上が相談場所グループについての報告です。

【子ども企画委員会委員】私たちのグループは、自然体験について検討しました。今の子どもたちは、自然に触れ合う時間が少なく、外でもっと遊んでほしいと思っています。そのためにも、自然体験ができる場所としては、何もない場所に作るのではなく、もともと自然があった場所で体験ができるようにしたいです。すぐには無理だとしても、10年後をめざして計画してほしいです。さらに自然体験の場所を作った後のことも考えました。誰でも利用できる施設にし、おじいちゃんやおばあちゃんのような知識も経験も豊富で昔の遊びを知っている人に教えてもらう活動を取り入れたいです。また、ボランティアなど大人が見守ってくれる仕組みがあることが良いと考えました。

大型の自然体験施設は、家族での利用がイメージされ、身近な自然体験場所が友達と一緒に自由に遊べるイメージです。以上が自然体験場所グループの報告です。

【子ども企画委員会委員】これで3つの検討項目の報告は終わりますが、私たち企画委員が昨年度取組みましたアンケートについても報告します、アンケートにある、「理想なまちはどんなまちか」という質問の自由記述回答で、一番多かった回答が、「ゴミのないきれい

なまち」、二番目が「安全・安心なまち」でした。

私は川口町に住んでいます。前回の大雪の時に、雪で中心地に行くことが困難でした。特に、中心地から離れた地域こそ、雪対策を行ってほしいです。また、バスも大きなものではなく、小さなものでも良いので本数を増やしてほしいです。私も、安心して生活できるまちを望んでいます。

【子ども企画委員会委員】まだまだ伝えたいことはたくさんありますが、今まで子ども企画委員会で話し合ってきたことを絞って、企画委員の代表として発表させていただきました。これからの子どものための計画に役にたてていただければと思います。よろしく願いいたします。

【井上会長】はい、ありがとうございます。質問や意見等ございますか。

これは、報告書型にまとめないといけないので、事務局の方はアンケートの結果を含めた報告書を提言集の形で作ってください。

高校生の皆様から、他に意見・要望等ございますか。個人的なものでも構いません。

【子ども企画委員会委員】八王子の医療機関を充実させてほしいです。八王子小児科がなくなって、救急外来の時に西国分寺まで行きました。

【子ども企画委員会委員】地域清掃をもっと多く行ってほしいです。あと、もっと情報の発信を行ってほしいです。普段、情報がいきわたり、清掃活動にも参加が多くなれば、地域との交流にもつながると思います。

【井上会長】子ども版ホームページのようなものがあればいいですよ。立ち上げることはできないですか。

【新堀児童青少年課長】検討させていただきます。

【平塚子どものしあわせ課長】地域清掃で集まるごみは、大人が捨てるようなゴミが多いですか。

【子ども企画委員会委員】お菓子のごみもありますが、たばこの吸い殻が多いです。

【井上会長】八王子市では、喫煙に関する条例があったと思います。子どもを守るために子どもが遊ぶ場で喫煙を制限するなどしたほうが良いですよ。子どもの安全・安心は、必ずしも虐待やいじめだけではありません。

【子ども企画委員会委員】たばこの件ですが、たばこの煙で咳が止まらなくなってしまうので、私としては、外で吸わないでほしいです。他にも、昼間からお酒をのんで歩いている人がいますが、そのような人も困ります。

相談場所については、何が原因でストレスを感じているのかわからないときもあるので、動物などと気軽に触れ合うことができる場所が欲しいです。動物と触れ合うことで、ストレスの解消につながると思います。夕やけ小やけふれあいの里は遠いので、行きたくても子どもは一人ではいけないと思います。

【井上会長】動物や自然と触れ合える場所が欲しいですね。

【高橋洋副会長】酔っ払っている人をやんわりと諭すことができる力を持っているのは、家族か、公的機関であれば警察だと思います。酔っ払っている人がいて怖いと思った場合は、警察に連絡して動いてもらうのが良いかと思います。小学生であれば学校か家に帰って大人に報告し、大人から警察に連絡するのが良いと思います。

【井上会長】子どもの安全安心条例のようなものをつくって警察も予防的な対応ができる根拠をつくった方がいいですね。

【平塚子どものしあわせ課長】ピーポくんの家というものもあります。

【子ども企画委員会委員】認識されていないかもしれません。

【志萱保育幼稚園課長】ピーポくんの家は小学校のPTA連合会が中心となって広げていただいています。ピーポくんのステッカーを貼ってもらうかどうか勧誘する判断基準については、学校区ごとに違いがあります。

【井上会長】地域によって基準が違うとすると、ピーポくんの家に駆け込むことがあてにならなくなります。安全・安心を守る仕組みを八王子全体で作っていく必要があります。

また、子どもたちが知らないといけませんので、啓発活動をしっかり行ってく必要があります。

【子ども企画委員会委員】実際に私も不審者に遭遇したことがありますが、目立つ場所にそのようなステッカーがないと、気がつきません。

あと、下校時刻の見守りももっとあったらいいと思います。

【山口委員】川口地区のほうは暗い道、公園が多いですね。また、空き家など管理されていないところも多くなってきています。

【高橋洋副会長】防犯ボランティアも担い手の確保が課題となっています。

【井上会長】議事、その他、事務局から何かございますか。

特になければ、これで本日の本審議会は終了します。ありがとうございました。